



写真・塚本洪太 「おにいちゃん、遊ぼうね」

読者の心を願って

喜びの タネまき 新聞 no.559

諦めない気持ち

テレビで元プロ野球選手を紹介していた特集を見ました。その選手は高校野球の有名校を卒業しプロ野球選手になりましたが、その球団ではレギュラーになれず数年後に契約更新しないとの通知を受けました。

普通ならそこでプロ野球選手としてピリオドを打つところですが、本人曰く「プロ野球を続ける理由はあっても、やめる理由が

ない」との思いから海外の野球チームでプレーを行い、引退するまでの十五年間で六カ国・九球団に在籍されました。

言葉や文化が異なる海外に行き野球選手として自らを奮い立たせ夢を持って更に挑戦し続ける気持ち、そしてその選手を支えている奥様や家族の姿に感動しました。

その方が野球を続ける根底には「諦めない気持ち」と「実行に移す行動力」、そしてそれらのことを乗り越える力が備わっているのだと思います。私も生活してい

る中で様々な場面において思い通りにいかないときや、また、一からやり直したりして一歩後退することもあります。

その場の状況や周囲の意見などで迷いが出たときは、自分自身に「やる理由はあるのか？ やめる理由はあるのか？」と問いかけ、やめる理由がなければ「諦めない気持ち」をもって挑戦し続けて行くことを学びました。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

子どもの時の夏休みって、とくべつ！でした。あなたの夏の思い出はどうですか？

「夏の灯台」



絵と文 中村みつを

イラストレーター、画家。絵と文の作品は自然・旅・人がテーマで、心の和む温かさ。読売新聞夕刊のみなみらんぼうのエッセイ「一步二歩山歩」に挿絵を描き、新聞連載の最多記録を更新中。日本山岳会会員。著書に「のんびり山に陽はのぼる」(山と溪谷社)、「お江戸超低山さんぽ」(書肆侃侃房)、「森のくらし」(リヨン社)など。

東京郊外の雑木林が残る町で育ったぼくには、海はいまよりずっと遠い存在だった。だから家族で出かけるとなれば、それは一大イベントになった。初めての海は潮干狩り。父がどこからか自家用車を借りてきて千葉の海岸に行ったのだ。

たからだ。代々、「かなづち」の一家に生まれたので、ぼくも泳ぎは不得意。それに山のほうが近いこともあって海より川遊びに行くのが家族の習いになっていた。溪流の流れを塞ぎ止め、プールになった浅瀬でじゃぶじゃぶ遊んだ。

家は娘がふたりで、男の子は大いに歓迎されたのだ。従姉妹はずっと年上だったので、あちこち遊びに連れて行ってくれた。ちょっと困ったのは毎日勉強をやらされたこと。ふたりとも教師になるほど勉強好きだったのだ。



ふと潮干狩りのことを思い出したが、快活なお姉さんと一緒に思うと胸が弾んだ。海は川より体がよく浮いた気がして、格好は悪かったけど必死に泳いだ。帰り道「灯台に上がろう」と、ふたりが声を揃えた。麦わら帽子をかぶったぼくは意気揚々と「行こう！」と応えた。三浦半島の海はどこまでも青く、入道雲はもくもくと高く盛り上がった。心が高くおおく広がっていく。夏。子どもの頃の思い出はいつ振り返っても輝いている。

(今回で連載を終了させていただきます)

冷やご飯がデザートに

「ライスプディング・2種」

ご飯で作るデザート。家にある材料で出来る、簡単レシピです。お米のツブツブした食感を楽しみながら、優しい味わいをどうぞ。そのままでシンプルな美味しさですが今回はトッピングを加えた2種類を紹介します。



お料理研究家 こいけりえ (最終回です。ご愛読ありがとうございました)

おやつ時間 簡単、美味しい楽ラクレシピ



◎作り方(2〜3人分) 鍋に、残りご飯や冷やご飯200gと牛乳200ml、砂糖大さじ3、塩小さじ3分の1、ハチミツ大さじ1を入れて火にかけて、焦がさないようにヘラで混ぜながら、約15分煮る。更に、牛乳50ml、卵黄1個分、ドライレーズン20gを加えて、全体が黄色く混ざったら火を止めて、鍋を火からおろす。仕上げにバター15g、バニラエッセンス2〜3滴を入れてよく混ぜ合わせる。粗熱がとれたら器に入れてラップをかけ、冷蔵庫で1〜2時間冷やしておく。これでとっても簡単、ライスプディングの出来上がり。

●トッピング① ドライフルーツ入りのシリアルを上からかけて、シナモンシュガー少々を振りかける。仕上げにメイプルシロップをかけて完成。ライスプディングが温かいうちにトッピングしても美味しく召し上がれます。

●トッピング② キャラメルソースを作る。鍋に水大さじ1、グラニュー糖30gを入れて弱火にかけ、程よく色づいてきたら水25mlを加えて濃度を調節し、冷ましておく。イチゴやオレンジ、メロンやベリーなどお好みのフルーツをカットして彩りよく盛り付ける。上からキャラメルソースをかけて完成です。自分流のトッピングでアレンジしてください。



フルーツは彩りよくトッピング

みてもらおう！おぼろ

見てうれし、見せてうれし、この写真。わたしの出番の1枚を送ってください。

孫娘と。息子はよくおんぶしてたなあ。兵庫県姫路市 田中瞳

いけいけ〜。名古屋市 丹羽良江

「いい？離すよ！」竹馬はパパ作。岐阜県羽島市 二村栄子

家族や友だちにしか撮れないステキな笑顔、みんなに見てもらいたいわたし好みの1枚。もちろんかわいいペットも撮れたら送ってください。お待ちしております！(詳細は7ページ)

お遍路さんのお接待

一家総出でおもてなし

◎香川県三豊市粟島◎

江戸時代から北前船の寄港地として栄えた粟島は、いまや住民2700人。島四国八十八ヶ所を5時間ほどで巡る空と海が美しいところだ。この静けさが1年に1度賑わうお接待。準備に忙しい一家をお訪ねした。

「うちで待ち合わせする人、多いんです」

うちとは箱崎さんの家。島の砂州の苦屋で、ところてんのお接待で大賑わい。巡礼道の途中で待ち合わせしたり、島の外から戻つて来る人が集う。

「うれしいです。中学の先生が来てくれたり」とにっこりしたのは箱崎家の孫、朝食たけこさん。

段上にお花を飾りお線香もたて、この日のために自費で1千から1千5百食を作る。

「おかわりしてね。ヒジキも筍もあるけん！」

昭和57年頃におじいちゃんと相談して、お接待を始めたスミ

箱崎スミエさん(92歳)
朝食たけこさん(38歳)



エさんはもう92歳になる。季節に合った味は秘伝のたれもふくめて手作りだ。

「ここはノリの養殖場だったから、毎年、掃除から開始」と娘のたけこさんが言うとお父さんが「突く道具も手作りだし、テングサ採りから始めるし。手間はかかるな。けど毎年の楽しみ」とあつさ



砂浜にもありました！
必ず2体が並んで、きれいなお花も。



「洗う手間がかかるけど、涼しげでいいけん」
おばあちゃんのこだわりを守ってガラス器に。
楽屋裏はけっこう大変だが、家族の力で毎年乗り切ってしまうのだという。



りと言う。「今日は大阪から弟が帰ってきて、手伝つてくれる。筍も煮てくれるし。兄弟は6人。親せきも来てくれて総出だな」

テングサは採りにいくのが大変。海に浮いているのを熊手でかきよせ、全部は取ってしまわないよう配慮する。乾いたら1週間以上前からハンマーでたたいてゴミを取り、数時間煮て濾す。白くし過ぎて香りが飛ばないように、塩梅を見ながら焚く。千食を超え、大鍋では間に合わなくなり、専用のお風呂のような釜を買った。焚いたら二重三重に濾す。たけこさんは、「全部、手作業です。一番古いや

り方やと思います。手がかかる分、おいしいです」

「正直、初めてところてんをおいしいと思った」とおかわりする人も。そればかりか、お土産に持って行きたいという人のためにも、袋詰めにして差し上げる。「おばあちゃんが歩けんけん。家で待つちよるんや」という人たちも。「二人分ですか、三人分ですか？」頼む方も、あげる方もうれしそ

うなのである。
島は須田港から粟島へ渡る汽船に乗って15分ほど。この日を目当てに訪れる人々で、静かな島の人口は普段の十倍にもふくれあがり、汽船も行ったり来

たり忙しい。

もともと海運で栄えた粟島。地元の船主が持っている北前船が88隻になったとき、航海の安全祈念で一船一基の石仏寄進をしたのが、島遍路八十八ヶ所の始まりだそう。見知らぬ人にも「どっから来たんな？」と迎え、健康長寿やお礼の気持ちをごめて声をかける。

家族総出のお接待がぜんぶ無償。「お金をもらわないからここまで楽しく出来るんです」というたけこさん。親切過ぎ！と言いたくなつたが、「ほんまもん」のおもてなし。お接待されて有り難いと感謝したい一日でした。



ロボじいじ

愛知県幸田町 山本實

「じいじ、しゃがんで！」腰を落とし、両手を床に着くと、孫は私の太ももを台代わりにして、ヒョイと背中から首まで上がり肩車。

「立つボタン。ピッ」私の肩のあたりを指で押します。言われるがままに立ち上がると、「風が吹くボタン」から始まり、「もっと強い風ボタン」「回るボタン」と続けざまに私のスイッチを押す。孫の言うスイッチ通り、風が吹いた時のようにゆらゆら揺れたり、その場でぐるぐる回ったりすると喜んで大はしゃぎ。その姿が嬉しくて、歳を忘れて動き回ります。

ひとしきりすると、私から「下りるボタンピッ」。すると孫が「下りないボタンピッ」。「落としちゃうボタン」「だめボタン」と続いて、なかなか解放されません。疲れるけれど、孫とのふれあいの嬉しいひと時です。

——思いとおりボタンピッ——



キウイ

愛知県豊川市 河辺正子

毎年、鈴なりに実をつけるキウイの幹を切る事になった。家族の介護や看護で疲れてしまい、庭の世話が出来なくなったためだった。「ごめんね」と言いながら雌雄2本にノギリをあてた。樹液が溢れた。ことがなかった。

翌年何と小さな芽を出しているのを見つけた。背丈は地面から3cm。「無理だろうな」と思ったが、1メートル位離れた場所からも、幹がないのに根っこからも芽吹いた。

「この子たち生きたいんだ」それからは互いの細い枝を導いてあげるように、再び育て始めた。そして去年、8年を経て目を見張るように育った木は、なんと7個の実をつけた。9月には収穫前から赤く熟れ、美味しかった。何より家族が喜んでくれた。かけがえのないものを失わずにすんだ。

——今年はいくつの実をつけるかな。——



弟と私

鹿児島県南さつま市 泊郁子

我が家の前にアパートがあります。幼い姉妹のかくれんぼの音が聞こえてきました。お姉ちゃんが鬼のようで、優しく「もーいいかい」と言いました。ところが、妹は「まーだだよ」と言うばかり。とうとうお姉ちゃんの声はどなり声に変わってしまいました。

二人のやりとりを聞いて、もう50年以上も前の弟とのケンカを思い出しました。なにが原因だったのか、怒った弟が私に向かって、「お前のかーちゃんデベン」と叫びました。かーちゃんは同じはずなのに、笑い出した私を弟は不思議そうな顔で見っていました。

ウフフ…。遠い昔、一緒に生活してた時代があったんです。弟はおじさんですが。

——座布団一枚！——



トクエばあば

愛媛県伊方町 梶原美智子

一昨年のことです。近所の豆腐屋のばあちゃんが夏バテしてしまいました。毎日の食卓にもおいしい豆腐がなくなりました。息子さんと嫁さんが、ずっと看病をしていました。調子はどうだろうと、ばあちゃんに話しかけると、「こんなにも皆に愛されて早く良くなるな、いけません。そしてもう一回豆腐つくるけん。まだまだ長生きするけん」と言っていました。

2カ月後、笑顔が良く似合うばあちゃんが帰ってきて、店にたちました。

「無事元気になりました」秋晴れの日、照れ笑いをしながら、天にむかっておがむ、ばあちゃんの姿に目がうるんでしまいました。これからも長生きしてね。

——暑いですね。お身体に気をつけ。——



方言

福島市 林孝子

娘夫婦と一緒に暮らしています。私の仕事は育児の手伝いと家事。日中は孫達に振り回され、気付けば夕方。3歳になったばかりの孫娘は、私の口真似ばかりしています。「何やってんだ、おめは？」と弟に注意しては、「そだごどすつとバチあだつかんな！」の決めゼリふ。アリヤ！ばあちゃんの言葉そっくりで、ひどい訛り。今更標準語は使えないし、無論英語は話せない。標準語で話そうとすると、舌噛みそうになる。毎日読んでる絵本には、感情を込めるため、結局訛ってしまいます。娘からは、「日本文化の衰退を食い止めているから、いいんじゃない？」と慰めてもらい、それならば今後も訛りを伝承しようと考えております。

——訛り素敵ですね。伝承してね。——

みんなで「せーの!」。真ん中の子の誕生日です。



三重県松阪市 桑名つゆ子

星を見つめよう

私達は、一人ひとりが、星をみつめようではありませんか！理想を高くかけ、それを絶えず見つめていようではありませんか！私達は、星に届くことはできません。しかし星のみつめ方が私達を目的の港へつれていってくれるかどうかということなのです。

鈴木清一

みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

あなたのお便りや写真をお寄せください

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33 (株)ダスキン広報部

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室 e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

no.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます http://www.duskin.co.jp/tanemaki/

4-5ページの粟島の八十八ヶ所巡り

三豊市役所(問い合わせは産業政策課) 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1 TEL: 0875-73-3000(代表) ※2015年は4月29日でした ホームページ: http://www.city.mitoyo.lg.jp/

燈々無尽



一緒に考えましょう、「障がい」のこと。 5 雨の日をステキにする心づかい。

雨の日は傘をさして荷物を持って、私たちが苦労することがありますね。足の不自由な人にとって、雨の日はまさに悪戦苦闘。濡れた地面は滑りやすく危険で、杖を使う人も車いすの人も傘をささないため、突然の雨にずぶ濡れになることも…。雨の日に傘をさしかけてあげる。それだけで立派なサポート。不自由や不便なことを考えて、彼らの気持ちに寄り添えればステキですね。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270 HP http://www.ainowa.jp/ 愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す『いのち』のある企業に、海外での研修支援を行っています。

ダスキンの会員制サイト

ディーデュエット

DDuet
DUSKIN MEMBERS SITE

会員登録
受付中!

わたしにいいコト、暮らしにいいモノ。

DDuetで
お買い物!
商品・サービス情報

DDuetで
見てみよう!
キャンペーン・地域情報

近所の
のお店も!/?
COUPON
DDuetで
もっとおトク!
会員特典

ご登録は3ステップで簡単♪

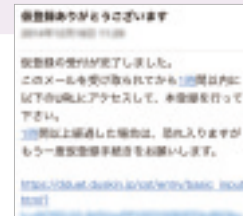
STEP 1

新規会員登録からアクセスし、
メールアドレスを仮登録
(本登録用のURLをお送りします)



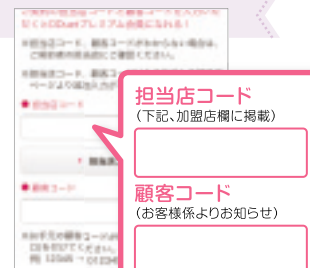
STEP 2

返信メールが届いたら、
1時間以内に記載された
URLにアクセスし、
本登録をお願いします



STEP 3

本登録画面で基本情報を設定
ダスキンの定期的なご利用があれば
2つのコードを入力するだけで
「プレミアム会員」に!



プレミアム会員登録完了!

アクセスはコチラから



●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**
発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。
個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター
0120-100100 www.duskin.co.jp